



伊方町報 編集所 伊方町長尾 印刷所 尾上八幡宮

夏だ

太陽だ

水の季節だ

規則正しい生活を

真夏の太陽がほほく照りつけ、うだるような暑さ、寒暖計の水銀柱は、子午のほり

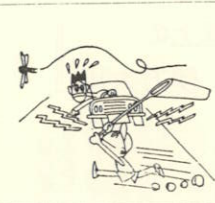
脱都市者が押し寄せて、平素の過疎地が反対に過密地となっている。

どの顔、肌も真っ黒、水すまのこくと元気に泳ぎまわる姿は健康そのものです。

長い夏休みが終わりに近づくと、こどもの事故を恐るが、あとも十日が一週間くらいになると、あれも、これもと残っている宿題や工作にんや、わんやの光景がみられます。



夏休みです 子どもの事故を恐るが、あとも十日が一週間くらいになると、あれも、これもと残っている宿題や工作にんや、わんやの光景がみられます。



盛大に公民館研究大会

二つのテーマで討議

豊かで明るい地域づくりめざす

伊方町公民館研究大会は七月二日中央公民館で開かれた。大会は藤井民生中央公民館長の民館で行なわれ、

読書の時間をつくろう

二部巡回図書館の利用を二部巡回図書館を年度から実施して、

体育人口の拡大

まず参加すること 指導者の育成について、体育指導員を増員しては

生活運動の推進は

部落ぐるみで

しかし、根拠強く町民一人一人に呼びかけなくてはならない。

第三分科会

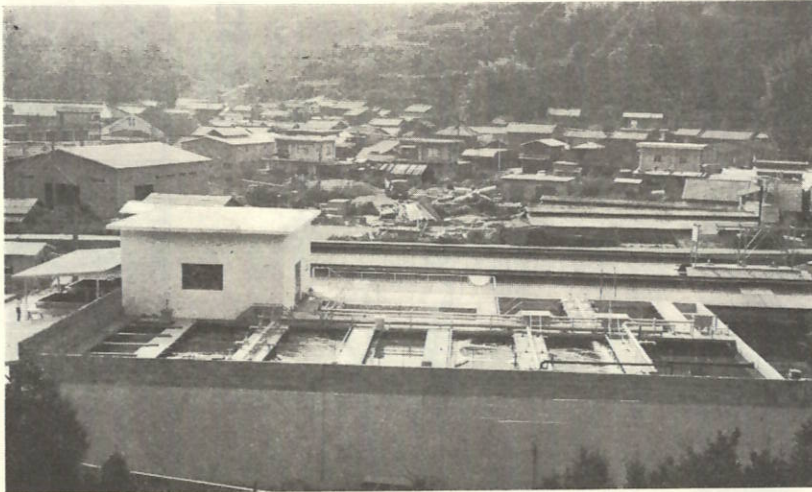
テーマ「体育人口の拡大」 司会者 松下魚松伊方体育協会

この第一分科会には、公民館主事、婦人会、区長さんを中心とした「生活運動の推進」を強力に進めていますが、昔から、この運動は六、七、あいつをわかしあう



二、夜間照明をし、いつでもスボーツが楽しめるよう配慮を話し合いました。 二、スポーツ少年団を多く育成して、スポーツ愛好者の底辺拡大を謀る。

伊方大川流域



養豚公害を解消

四国で初の

大型汚水処理場が完成

公害で明け、公害で暮れる今日、行政も、住民も、公害追放に躍起である。
本町にも養豚公害がとりさたされるようになって久し。
町、農協、養豚生産者が一体となつて、これの対策に努力した。
その結果、四国ではじめて(全国で五カ所)の大型養豚汚水処理施設が、我が伊方町にできた。
し尿処理のホープとして注目され、環境の保全と調和に貢献する活性汚泥処理施設とは、どういふものなのかクローズアップしてみよう。

1日4,000頭分を処理

伊方大川の汚染源となっていた豚のし尿4,000頭分が、この処理場で処理され、国の水質汚濁法の基準よりはるかに浄化されたもので流され、伊方大川はヘドロと悪臭が追放され、よみがえりつつあります。

汚名返上の伊方大川

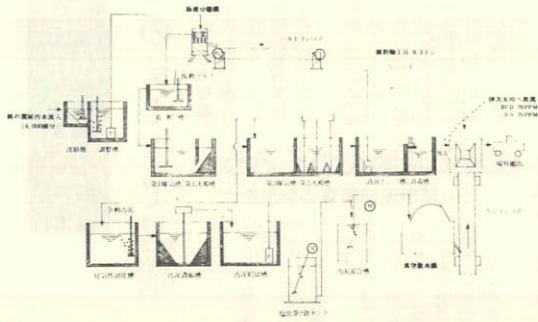
し尿処理施設 臭がひどく、伊方町の玄関口は目がかげがかったをおおい、鼻をもつまむ状態でした。
伊方大川が生みだした汚名を返上する。
以前の伊方大川が少しかつたものだけに汚水の臭いは、流水は黄色く、表面は油膜がたまり、S.S.も国の基準よりきれいなものには浮遊物が散らばり、退潮時の高き伊方大川の汚名を返上し、大川河口では悪た。

固形物と液体を分離

固形物と液体を分離

施設のしくみをみてみます。
まずし尿を調整槽にため、そこから脱水機に移し、固形物と液体を分離する方法です。
固形物は、固形物(一日九トンはケートホッパー)にかけ、完全無臭で、BOD(生物性酸素要求量)七〇PPM、SS(浮遊物)七〇PPMで、国の水質汚濁法の基準よりはるかに浄化された。
液体は希釈槽、ばつ気槽(二槽)、沈でん槽(二槽)で希釈水と汚泥を分離し、布積水は汚染をほとんど豚のし尿にのみたてた汚泥は好気性消化槽、汚たが解決したわけだ。

処理装置のしくみ



優良児に

好美ちゃんら表彰

昭和四十八年度赤ちゃんの健康、月三日町見公民館、六月七日中優良児をきめる健康診査会は、五、中央公民館行なわれました。

◎健康優良赤ちゃん

Table listing names of children from various districts (川水田, 中浦, 湊浦, 河内, 仁田之浜, 部落, 大浜, 高橋, 山口, 上田, 須賀, 西, 加周, 田之浦, 古屋敷, 鳥津, 大成, 古田, 岩井, 嘉喜, 勝政) who were recognized as healthy children.

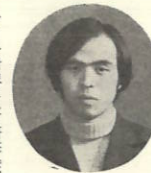
優良児に

好美ちゃんら表彰

昭和四十八年度赤ちゃんの健康、月三日町見公民館、六月七日中優良児をきめる健康診査会は、五、中央公民館行なわれました。

◎健康優良赤ちゃん

Table listing names of children from various districts (川水田, 中浦, 湊浦, 河内, 仁田之浜, 部落, 大浜, 高橋, 山口, 上田, 須賀, 西, 加周, 田之浦, 古屋敷, 鳥津, 大成, 古田, 岩井, 嘉喜, 勝政) who were recognized as healthy children.



日ノ農業青年

交歓セミナーに参加

九町の山口武君(二十四)が全国農協青年組織協議会及び都道府県農協青年組織協議会の主催する「日ノ農業青年交歓セミナー」に参加して、このセミナーは、農協青年部連合会をチャーターしたハバロ。
山口君(九町)
日ノ農業青年
交歓セミナーに参加
研究の出発点にあり、役場にいきついで見えた同君は「農業や、農協の形がソビエトは、日本とちがうソビエト、コルホーンといふ集団農場があり規模が大き、伊方地方のようないまのうちに一読を。」



